

●仲間や家族と沖釣りホリデー!  
Charter boat fishing with friends and family

# 貸し切り船 ナビ

仕立専門  
●撮影・文 / 古河好夫

【第24回】  
三浦半島伊勢町

## ながつか ボート店

三浦半島伊勢町の  
ながつかボート店は  
貸しボートのほか17トンの  
大型船を所有。走水沖の  
アジを中心にタチウオ、  
オニカサゴなどの人気ターゲットを  
心ゆくまで楽しませてくれる。  
走水産の海苔やワカメの  
製造販売も手がける。

### 今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、神奈川県横浜須賀市の居作和人さんが幹事を務めるグループ。釣りはタチウオ&アジです。



▲タチウオ、アジともに釣りは走水沖



TARGET  
タチウオ  
&  
アジ

### 長塚博久船長に聞きました! アジのコツ

「アジを釣るコツは、とにかく竿を動かしてまめにタナ取りをすることです。仕掛けを投入して着底したら、糸フケを取ってから2メートル巻き上げてコマセを振り出し、さらに1メートル巻き上げてアタリを待ちます。タナは底から3メートルと覚えておいてください。これを2~3回繰り返し、うなら再着底させてタナを取り直します。これを2~3回繰り返してアタリがなければ、仕掛けを上げてコマセを詰め直します。大きいアジを抜き上げると口切れしやすいので、できるだけタモを使って取り込むようにしてください!」



●竿先にキュクンとくるアジのアタリがたまらない

### 走水沖の ビンアジが二番人気の アットホームな船宿

ながつかボート店が伊勢町で貸しボートの営業を始めたのは、長塚博久船長のお父さんの代からで、そのころから現在も行っている海苔漁との兼業だったという。

仕立船を始めたのは30年ほど前で、主に釣らせていたのは走水沖のアジ。当初は走水伝統の手ビンでの釣りだったそうで、水深100メートルの釣り場であっても手で糸をたぐってアジを釣っていたという。

「はつきり言って超重労働だったよ(笑)」と船長。

今でも同船で最も人気が高いのはこの走水沖のアジで、もちろん現在は竿のビン釣り狙う。

25~30センチ級  
中心に40センチ  
級も交じるそう  
で、その食味の  
よさにほれ込ん  
だりピーターも  
多いとか。

6月中旬以降の  
おすすめをたずね  
ると、

「走水といったら  
走水ブランドのア  
ジだからね、ビンアジが一番だ  
よ。リレーで楽しむならタチウ  
オとアジがおすすめなんだけど  
タチウオがこのところ厳しくて  
ね、復調することを願っている  
よ」と船長。

### 初タチウオ 釣っちゃいました! by 田中志保美さん

この日タチウオに初挑戦した東京都町田市の田中志保美さん。状況的にはかなり厳しかったが見事初タチウオをゲットしてニッコニコ。初タチを釣った感想をうかがってみました。

「タチウオが上がってきたときの姿がかっこよくてすごくうれしかったです。いつもはライトなタックルで五目釣りを楽しんでいるのですがタチウオにハマっちゃいそうなんです。自分の手でドラゴンと呼ばれるサイズを釣ってみたいくなりました。今日釣れたアジは塩焼きでいただきます。メイタチウオはちょこっとお刺身にして、ドラゴン級目指して、これからも頑張ってください。」



▲最初に上がった指幅3本クラスのタチウオ  
▶当日はテンビン仕掛けにアタリが多かった



▲アンドロピンは130号を使用。付けエサはアカタン  
▲ビンアジのコマセはワシのミンチ



●タチウオは海面から20~40メートルのタナを探った



▲タチウオのテンビン仕掛けは80号オモリを使用。エサはコノシロの切り身



●女性のメンバーもタチウオをキャッチ

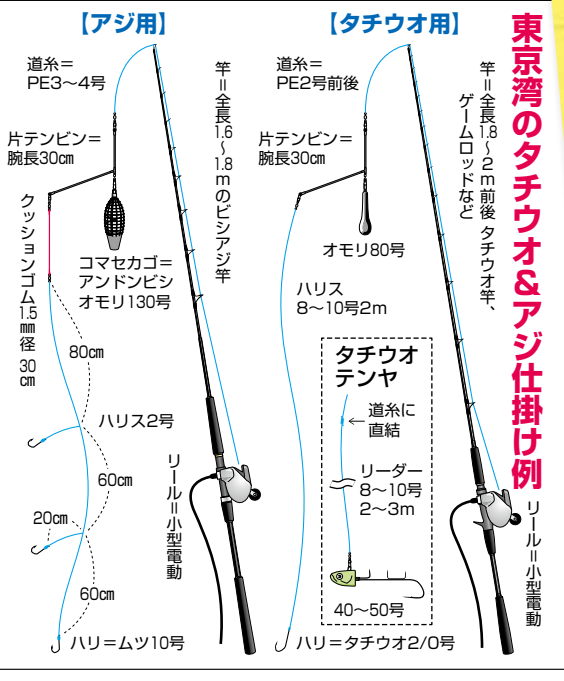
また同船はオニカサゴも得意としていて10月~3月がメインだが周年出船可能。毎月のようにオニカサゴで仕立てるリピーターもいるという。富浦~洲ノ

この時期はカサゴも狙い目です。走水沖の水深10~30メートルを探る。走水沖はカサゴの魚影が非常に濃く20~25センチ級の釣りを楽しめ、日により30センチ級も交じるそうです。

崎沖の水深100メートル前後が主な釣り場で、600~700グラム級主体に1キロクラスも顔を見せる。マダイも人気メニューで、久里浜沖や剣崎沖の水深50~90メートルを狙う。サイズは1~2

キ口級がメインで、アジやイナダなども交じりクローラーの中にはにぎやかにいるそう。そのほか群れが入り次第、剣崎沖のワラサも出船する。

舵を握る長塚博久船長は明る



### 東京湾のタチウオ&アジ仕掛け例

# ながつかボート店

三浦半島伊勢町  
NAGATSUKA BOAT TEN  
Isemachi, Miura Peninsula  
☎046-844-2770 (詳細は巻末の情報欄参照)

## 料金プラン

●平日は5名、土日祝日は10名から受付(人数に満たない場合は応相談)。1人あたりの料金は1万円～(釣り物により料金の変動あり)。洲ノ崎沖など遠方の釣り場を狙う場合は10名より受付。リレー釣りは応相談。下船後に船宿にて精算。



▲長塚 博久船長

▶ながつかボート店の船宿はピンク色の壁が目印



▲船は17トンの大型船で「20名までが釣りやすい」と船長



▲車は船着き場の脇に停められる



▼手入れが行き届いた電動リールの貸し道具はロッドキーパー付き

▲ながつかボート店で製造販売される走水産の海苔は風味豊かで実に美味



●貸しボートも周年受付

## 利用ガイド

- [予約方法]** 電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確保
- [出船時間]** 7時15分より出船可能。沖揚がりまで最大7時間
- [エサ、氷、仕掛けなど]** 氷、エサ付き。仕掛けは別料金
- [レンタルタックル]** 手巻きリールのセットは無料。電動リールのセットは1000円
- [集合場所]** 船宿に集合。車は船長の指示で、船宿または船着き場に停める
- [備考]** 貸しボートは1人乗り4000円、2人乗りは4500円



		《釣り物カレンダー》											
釣り物	シーズン(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アジ	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚
マダイ	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚
タチウオ	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚
カサゴ	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚
カワハギ	魚									魚	魚	魚	魚
オニカサゴ	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚
ワラサ	魚									魚	魚	魚	魚



●一荷でゲット!



▲おいしいそうなおアジに思わずニッコリ



●釣って楽しく食べておいしいアジは女性にも大人気



●走水沖のレンジャーは梅雨〜夏も期待度◎



●アジも30センチクラスになると強い引きを見せる



●小さくても25センチほどもある



▲良型のサバも上がった



●35センチ級の良型も交じる

## 幹事の居作和人さんに聞きました!

### ゆったり竿を出せる大型船で明るい船長に色いろと楽しませてもらってます!

「ながつかボート店との付き合いはもう20年以上で、今でも月イチは必ず仲間と乗船しています。ここがいいところは船長の明るい人柄と融通が利いて色いろな釣りを楽しませてくれるところですね。冬場になるとオニカサゴやカワハギで乗船することも多いです。船も大きくゆったりと楽しめる点も気に入っています。あと、少し釣れなくなると船長が次々ポイントを変えて釣らせてくれるのもうれしいです。今日はピギナーが多かったのでタチウオ&アジのリレーにしました。タチウオがダメでもアジはなんとかなるだろうと思って。結果そのとおりになっちゃいました(笑)。でもこのアジは天下一品なので皆満足したようですよ。当日は12名で乗船し、一人あたりの料金は1万5000円。協力ありがとうございました。」



また、同船宿で製造販売している走水産の海苔は風味豊かで絶品なので、お土産にぜひ! タチウオは苦戦したがアジは40センチ級も登場

ながつかボート店を訪れたのは5月22日のこと。神奈川県横須賀市の居作和人さんが幹事を務めるグループがタチウオ&アジのリレーで仕立てた船にお邪魔した。

魔させていた。7時15分に出船。まずは走水沖のタチウオからスタートする。釣り方はテンビン仕掛けのほか、テナヤで一発大物を狙う人も。海面から20〜40メートルの指示ダナで釣り始めたが、テンビン仕掛けにはたまにアタリが出るものの、テナヤにはまったくアタらないという。

最初のタチウオが上がったのは開始から30分ほどたったところ。指幅3本クラスでテンビン仕掛けでの釣果。その後は女性2人が同級をゲットしたがどうにも芳しくない。状況は好転せず、タチウオは約1時間半ほどで終

了となりアジに転進。少し移動して水深50メートルで再開。コマセが効き始めるとポツポツとアタリが出て25〜30センチ級のアジが取り込まれる。どれも体高があり見るからにいいそう。

「今日はいすが渋いけど型がいいので助かります」と幹事の居作さん。中盤戦に入るとさらに型がよくなり40センチ級の大アジを釣り上げる人も。

その後もポツポツながらアジは釣れ続き午後1時半の沖揚がりを迎えるころにはトップ15尾の釣果。ボウズはなく晩のおかずには十分な量のアジを皆さん釣り上げた。

「今日はタチウオもアジも今イチだったねえ」と長塚船長。いやいや、私からしてみればタチウオはともかく良型のアジがあれだけ釣れれば十分です。タチウオは様子見になるものの、アジは今後も期待十分のこと。走水沖のアジを味わうべく皆さんも出かけてみてはいかがでしょうか。」